

2022（令和4）年度

大田区家庭・地域教育力向上支援事業の記録



大田区教育委員会

※新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、実施しました。

1. 子供の部屋 学びの実践の会

健やかな育ちのために ～様々な症状の家庭での対処法～

<内容>

新型コロナウイルスの蔓延により、人々の暮らしが変わり、こどもたちの育ちの環境も変化しつつある今、どのように大人は子どもの健やかな育ちを支えるべきか医療知識を持ち、実践に繋げていけばよいかを学ぶ。あせも・とびひ・シラミ・ギョウチュウなどを病院に行く前に親ができる対処法を学び対応できるようにする。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 6月18日(土) 10:30～12:30 | 健やかな育ちのために ～様々な症状の家庭での対処法～ 講師 高野 弘之 (小児科医師) |
| | 子供の部屋保育園ホール | 参加者数 17名 (内訳) 会員 2名 ・ 会員以外 15名 |

2. おおた子育て親育ての会

「赤ちゃんはどこから?と訊かれたら」～幼少期の子どもに伝える性のおはなしを学ぼう～

<内容>

「赤ちゃんはどこから生まれてくるの?」と幼少期の子どもに聞かれたときに、どのように伝えたらよいかを学べる講座。助産師の講師をお招きし、自分のからだを大切にするための「子どもたちに語りかける性のおはなし」を通して、子どもとの信頼関係づくりの重要性を学ぶ。

<参加者の感想>

- ・なかなか家で話せず、このような講座があると助かります。
- ・絵本などを通して伝えるとわかりやすいし、子どもの疑問も引き出しやすかった。
- ・親子でとても勉強になりました。くり返し伝えることが必要だと思いました。
- ・子どもの素直な反応を見て、子どもなりに性について興味があることを再確認しました。
- ・あたりまえの事として、やさしく伝えることがポイントと感じた。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 7月22日(金) 10:00～12:00 | 「赤ちゃんはどこから？と訊かれたら～幼少期の子どもに伝える性のおはなしを学ぼう～」 講師 土屋麻由美(麻の実助産所助産師・ピッコラーレ代表) |
| | 入新井大集会室 | 参加者数 35名 (内訳) 会員 6名・会員以外 29名 |

3. おおたっこ条例を考える会

「こども条例に関する勉強会」その1～おおたっこを育むために～
「東京都こども基本条例」「豊島区子どもの権利に関する条例」から学ぶ

<内容>

東京都で「東京都こども基本条例」が制定され、豊島区では「豊島区子どもの権利に関する条例」が既に施行されている。講演会を通して大田区の親や大人達が子どもの権利への関心や理解を深め、子どもに適切に接することで良い関係をはぐくむことを学ぶ。

<参加者の感想>

- ・盛りだくさんの内容で少々消化不良の感があります。
- ・子どもの権利があまり知られていない日本において、貴重な機会だった。
- ・豊島区のとrikumiを知ることが出来た。条例ができた今もさまざまな意見があるのも興味深い。
- ・子どもたちの声に基づいた施策を考える必要があると思います。また、政策を決める場に若者の参加も重要ではないでしょうか。コーディネーターから「過程への参加」ということが出ていましたが、ぜひ進めてほしいと思います。
- ・質疑・意見交換の時間が足りないように思いました。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 8月27日(土) 13:30～16:00 | 子ども条例に関する勉強会」その1～おおたっこを育むために～ 「東京都こども基本条例」「豊島区子どもの権利に関する条例」から学ぶ 講師 小澤さおり(豊島区子ども家庭部・子ども若者課長) 人見志のぶ(東京都子供政策連携推進部子供政策調整担当課長) 林大介(浦和大学社会学部准教授) |
| | 大田区立消費者生活センター 大集会室 | 参加者数 67名 (内訳) 会員 11名・会員以外 56名 |

4. 大田区立馬込小学校 PTA

プログラミングが子どもの未来を開く！？

～プログラミング教育の現場から見た子どもとプログラミング～

<内容>

小学校のカリキュラムにプログラミングが取り入れられ、家庭での関心は高まったものの保護者がプログラミングに詳しくない家庭では、どう接すればよいかの戸惑いもあるのが現状。講演会を通してプログラミングを学ぶ意味と家庭でどのようなことができるのかを学ぶ。

<参加者の感想>

- ・子どもにプログラミング教育が必要だと十分理解できた。
- ・プログラミングだけではなく、教育に用いる際の留意点(素人の作品を参考にする等)のアドバイスが目からうろこでした。小さい頃からのプログラミングに触れるメリットを理解できました。
- ・子どもも興味を持って一緒に聞きました。
- ・ゲームを否定するのではなく、うまく取り入れながら子どもの興味を引いていきたいと思います。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|--------------------------|--|
| 1 | 10月22日(土) 18:00～19:00 | プログラミングが子どもの未来を開く！？ ～プログラミング教育の現場から見た子どもとプログラミング～ 講師 原田 洋一 |
| | 馬込小学校 理科室 | 参加者数 40名 (内訳) 会員 30名・会員以外 10名 |

5. 大田区立雪谷小学校 PTA

小学校入学に対する不安を解消！発散のコツを知ろう！

<内容>

小学校入学を目の前にした保護者が抱えるストレスや見えない不安が、コロナ禍でさらに増えている現状を感じる中、学習会をとおして保護者としての不安の解消法や、子ども達への声の掛け方を知る機会を創る。また、児童の育成環境の好循環を生み出すことを狙いとし、参加者同士のディスカッションを促し、地域コミュニティ創出のきっかけづくりを学ぶ。

<参加者の感想>

- ・こどもの発達や愛着という普段あまり考えたことのないテーマで学ぶことができ、とても勉強になりました。とりわけ「育て急がない」ということばに安心しました。また、同じ立場の方々、PTAの方とお話することができた事はとてもよかったです。不安に思っていることを共有したり現役のママさんのアドバイスはとても参考になりました。
- ・就学にあたり、親の心づもりを知れて、少し余裕をもって子どもを小学校へ見送れそうです。もちろん多々悩むこともあると思いますが、心強い先生やこういうことを企画してくださるPTAの方々がいることを知れたのが何よりよかったです。
- ・下の子の就学に向けて参加させていただきましたが、上の子の子育て(現小4)にも沢山勉強になる講習会でした。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|-------------------------|--|
| 1 | 11月6日(日) 10:00~12:00 | 小学校入学に対する不安を解消！発散のコツを知ろう！ 講師 発田 憲 (ファカルティ教育デザイン研究所 代表) |
| | 雪谷小学校体育館 | 参加者数 50名 (内訳) 会員 20名 ・ 会員以外 30名 |

6. 大田区立六郷中学校 PTA

子どもたちの自律と未来に向けて～受験の制度や進学にむけた学習について考える。

<内容>

社会の変化とともに、子どもたちの進路や職業の選択も様々に変化している。高校の選択は、単に3年間学習する場だけでなく、その後の大学進学等の進路にも大きくかかわってくる。今回の講演会では、高校進学に向けての学習の仕方や、受験校の選び方、都立高校の種類、都立・私立の入試のしくみ、高校選択と大学受験の関連、大学入試制度の最近の動向について解説する。保護者は子ども達が自立して、未来にむけてしっかり歩いていくために必要なことを共有する。

<参加者の感想>

- ・今後もこのような講演会をお願いしたいです。
- ・お忙しい中このような機会を設けてくださりありがとうございました。外部の方が、生徒に向けても、進路や受験の仕組み、学習方法などを公演していただけると、見通しを持って生徒も学校生活が送れると思いますので、学校でも検討していただきたいと思いました。
- ・現在中3なので、中1で聞きたかったです。
- ・自分でいろいろな情報を集めるのは大変なので今回のような機会は大変ありがたいです。また是非、参加したいと思いました。
- ・高校受験を経験したことがない保護者の方に聞いて欲しい内容でした。受験に必要な情報が詰まっていると思いました。

・高校受験までの親としての心構え、知っておくべきことが知れて、とても勉強になりました。自分の子どもを3年間預ける学校、将来を見据えること(大学受験・就職等)を視野に入れた高校選びをすることを教えていただき、子どもの高校受験までにたくさんの学校を見学しておこうと思いました。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 11月19日(土) 13:30~15:30 | 子どもたちの自立と未来に向けて ～受験の制度や進学にむけた学習について考える 講師 銅谷 新吾 (文教大学附属中学・高等学校 校長) |
| | 六郷中学校体育館 | 参加者数 50名 (内訳) 会員 30名・会員以外 20名 |

7. 大田区立高畑小学校 PTA

食育と子どもの成長～食事がもたらす心の育ちとの関係～

<内容>

新型コロナウイルス禍で家庭内の食事をはじめ、給食や外食でも「黙食」が求められている中、コミュニケーションのツールとしても重要な食事における子供の心の育ちとの関係について、スクールカウンセラーの知見も踏まえ、成長期の食事の在り方の認識を共有し、学校・家庭教育における知識を育む。

<参加者の感想>

- ・食事の時間をどのように過ごしてきたか考えることができた。今後は食事のとり方について考えていきたい。
- ・食を通じた家族のコミュニケーションと食が生活を豊かにするものと考えさせられました。忙しい生活の中でも食事を通して子供と楽しい時間を過ごせるようにしたいと思いました。
- ・子供も自分もタスクが多く、食事がその中にあり、リラックスする時間ではなくこなす作業になっているかもしれないという気づきがありました。
- ・マインドフルネス(イーティング)がその場で体験できてよかった。日常生活の中で意識し取り入れていきたい。
- ・マインドフルネスのプロセスを始めて、呼吸を整え始めた瞬間、寒さや周りの音が気にならなくなる一方、気がそれたら意識を戻すという事が初めての感覚で、思いの外集中できた。いかに呼吸が重要か知れた。面白い取り組みだと思いました。丁寧に一つ一つ取り組むことがリラックスとストレスにもつながることが知れたのかと思いました。
- ・その場でチョコを食べ、体験できたことが重要だったと思います。後から自宅で試すように勧められても、実際やらなかったと思います。
- ・日々の生活で見落としている気づきがあった。
- ・スライドの文字が小さく見にくかった。

- ・「心の育ち」を親としてあまりゆっくり見てあげられていない、少しの落ち着きを意識する事で気持ちがとても落ち着き、安心することができるのだとわかりました。心の安定をもっと子供にさせてあげられたら、自信にもつながるのではないかと思います。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|-------------------------|--|
| 1 | 1月14日(土) 10:00～11:00 | 食育と子どもの成長～食事がもたらす心の育ちとの関係～ 講師 石橋 麻衣子(高畑小学校スクールカウンセラー) |
| | 高畑小学校 体育館 | 参加者数 55名 (内訳) 会員 54名・会員以外 1名 |

8. aurora journey -保育の世界を旅してみよう-

お父さん保育士のぶっちゃけトーク
-男性保育士3名が語る子育て・家族に大切なこと-

<内容>

男性保育士3名の父・保育士・夫としての子育て・家庭の実体験を聞きながら、母親代表「chatty+」に子育て・家庭について対談をする。その後参加者同士で意見交換をし、全体に共有することで子育て・家庭の疑問や困難感を共有・解消が出来るように一緒に考える。

<参加者の感想>

- ・個性的な三者のお話を伺えて、とても良い時間だった。
- ・今その時の子育て、保育を楽しもうと思います。
- ・男性保育士と話したりする機会がないため、非常に有意義な時間だった。
- ・もう少し「伝える」ということに工夫してほしかった。
- ・楽しい学びの時間をありがとうございました。とても有意義な時間だった。
- ・なかなかない学習会だと思うので面白かった。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|-------------------------|--|
| 1 | 1月29日(日) 14:00～17:30 | お父さん保育士のぶっちゃけトーク -男性保育士3名が語る子育て・家族に大切なこと- |
| | カムカム新蒲田 | 参加者数 33名 (内訳) 会員 4名・会員以外 29名 |

9. 大森地区小学校 PTA 連絡協議会

大切けどどうしたらいい？おうちでできる性教育

<内容>

現在、学校での性教育は必ずしも十分とはいえず、保護者自身も性教育を受けてこなかったことから家庭での性教育に自信を持ってない場合が多い。今回講義を通して保護者が正しい性についての知識を学ぶことで保護者自身が性意識を肯定的に捉え、子どもの性を受け入れ、寄り添えることができること、また、今後子どもの孤独を防ぎトラブル回避に繋がることのできるように学ぶ。

<参加者の感想>

- ・自分が子どもの頃に教えてもらわなかった事を子どもに教えるのはとても難しく、興味深くお話を聞かせて頂きました。ヒントを沢山頂けたような気がします。
- ・性教育というのは、性行為についての教育というイメージがありましたが、実際には、私たち生きる力の中心であることを知ることができました。これからは、性についての話をタブーとしないように頑張りたいと思います。
- ・一般的に連想されるいわゆる「性教育」にとどまらず、その大前提となる、親子の関係性や自己肯定感を育てる関わりや声掛けについても改めて知ることができて、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・タブーにしすぎず、だけど無理せず踏み込みすぎずで良いと分かり気が楽になりました。子どもが興味を持った時のチャンスに備え、相談しやすい距離感をまずは築いておきたいと思います。
お話がわかりやすく、紹介していただいた動画や資料も充実していて大変勉強になりました。子どもたちの体つきの変化を感じていたので、これからのことを話していくきっかけにしていきたいと思いました。家庭内で話題にするのも勇気が要ることだなと感じていましたが、先生より終了後、気になっていることについてアドバイスを頂くことができました。帰宅後、すぐに夫と共有でき、すっきりしました。命を育む親として、子どもに正しい情報を伝えていきたいです。学びと気づきがとても大切だと感じました。
- ・何となくその時が来たら、その場で対応と考えていましたが、子供に対しての配慮や注意、また、性行為にまつわる事だけでなく、色々な意味での性を含めて教えなければならないと言う事、準備が必要である事、また、性に関連する事柄は法律や制度の変更にも敏感に情報を得る必要性を感じました。
- ・まず、前提として家庭の風通しを良くすること(子どもに嘘をつかないことなど)が重要だという視点に共感いたしました。
- ・性教育は性行為対してはだけではなく、子育て全般を意味しているのだと感じました。
私自身、「父親の役割、母親の役割」と性差のある社会で幼い頃から育ったので、すぐには考え方を変えられないかも知れませんが、頭を柔軟にして考えていかなければいけないと今の世の中に遅れてしまうと思いました。
- ・フルタイムで仕事をしているので、休日に開催していただけるセミナーはありがたかったです。又、このような貴重なセミナーを開催して下さった大森地区小学校 PTA 連絡協議会の方々および講師の工藤様に感謝いたします。どうもありがとうございました。
- ・比率は少ないものの、男性の参加者も多数あり、関心のある方が多いテーマであると思いました。

| | 日時・会場 | 内容・講師・参加者数 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 2月23日(木) 14:00~16:30 | ~大切だけどどうしたらいい?~ おうちでできる性教育 講師:工藤 有里 助産師・保健師・日本思春期学会性教育認定講師 帝京大学非常勤講師(2022) |
| | 入新井集会室 大集会室 | 参加者数 80名 (内訳) 会員 80名・会員以外 0名 |